入学式　式辞

城跡の高台に風光る中（春風が舞い上がる中）、このように盛大に入学式を挙行できますこと、大変うれしく思っております。知道会の稲葉会長、奨学会の船橋会長をはじめ、ご来賓の方々にはご多忙の中、ご臨席を賜り誠にありがとうございます。

さて、新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんが入学した今年、2023年度は、本校にとって記念すべき年です。すなわち、高校は創立145周年を迎え、附属中学も全ての学年が揃いました。茨城県内で最も古い、歴史ある高校と、最も新しく、完成したばかりの中学校が一体となって、世界中でここにしかない、新たな伝統を生み出していきましょう。

また、2023年という年は、歴史全体の流れから見ても、大きな節目といえます。「78年」という長さで歴史を切り取ってみましょう。今から78年前は何年でしょうか？1945年。そう、太平洋戦争が終わった年です。本校も、水戸空襲により、一面焼け野原になりました。さらにその78年前は何年でしょうか？1867年。本校の校是の一つである「至誠一貫」を揮ごうされたことでも知られる、徳川慶喜公によって大政奉還が成し遂げられ、徳川300年・江戸幕府が幕を閉じた年です。一方で、今から78年後は何年でしょうか？2101年。そう、22世紀が幕をあける年です。

江戸と明治を分けた1867年、戦前と戦後を分けた1945年、新型コロナウィルスとの戦いにひと区切り付けようとしている今年2023年。そして、世紀を分ける2101年。その時、皆さんは何歳ですか？私は131歳になる計算ですが、そこまで生きて22世紀の世界を見ることはないでしょう。ここにおられる大人の多くも、そうかもしれません。

しかし、生徒の皆さんは違います。78年後もまだ、90代の前半です。今でさえ、「人生100年時代」と言われ、100歳を過ぎても元気に活躍されている方が少なくないのですから。

私たちは、未来のバトンをみなさんにつなぎます。本校在学中は、バトンパスの区間であると理解してください。これから皆さんが、平和で豊かな世界の創り手として成長し、幸せな人生を歩み、22世紀においてもなお社会の第一線で活躍している。そうなるための土台を、本校でしっかりと築いていきましょう。

さて、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。壇上から見るお子様は、希望と緊張に満ちた、とても凛々しい姿をしています。これもまた、皆様のこれまでの子育ての賜物であると、心より敬意を表します。生徒たちは、本校在学中に成人となります。本校では、生徒たちの自主・自立を最大限尊重し、自分のことは自分で決める「自己決定力」を重視しています。家庭と学校が連携を密にしながら、生徒たちの成長をしっかりと支えてまいりましょう。

　最後に、２２世紀を迎えたその日に、「水戸一高で過ごした日々はかけがえのない、黄金の日々であった。素晴らしい仲間と先生に出会えた」と振り返ることができるように願って、式辞といたします。